

再発見★新発見

「栃木市の宝」

—文化財を知り、分かちあい、守り、活かして未来を創る—



奈良時代坐像の複製



善野家土蔵



藤岡神社遷跡出土犬形土製品



とちぎの山車



徳川実成筆後戸書



下野国立博物館(復元)



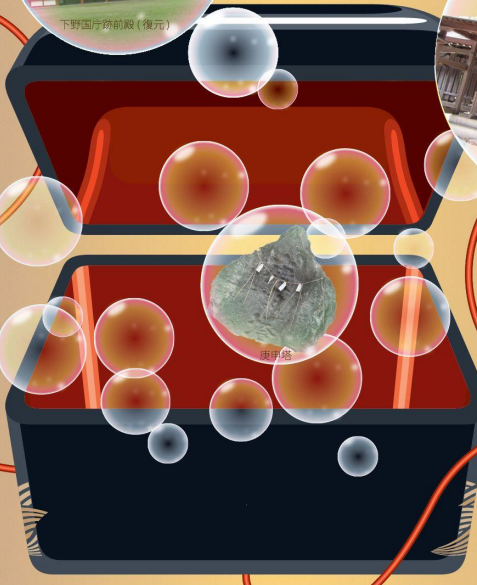
村橋神社本殿



睡る地輪



東善光寺梵鐘



雨戸銘

令和8年10月24日(土) - 11月29日(日)

会場：栃木市蔵の街市民ギャラリー

時間：午前9時 - 午後5時(入場は午後4時30分まで)

休館日：火曜日(祝日の場合開館)、11月4日

観覧料：無料

内容：「栃木市の宝」をパネル展示で紹介、一部実物資料も展示

栃木市教育委員会

認定記念 無形の民俗文化財公演会開催

令和8年11月14日(土) 午後1時30分～

会場：栃木市立美術館・文学館ひろば(入場無料・どなたでも)



↑
栃木市文化財保存活用地域計画についてはこちら

再発見★新発見「栃木市の宝」 —文化財を知り、分かちあい、守り、活かして未来を創る—

栃木市は、江戸の面影を残す蔵の町並みや渡良瀬遊水地などの景観、社寺や伝統行事、そして地域の暮らしの中に息づく技や信仰など、多様な文化財に恵まれています。これらは先人たちが守り伝えてきた栃木市民の誇りで、未来へ継承すべき貴重な財産です。

しかし、人口減少、地域コミュニティの変化、災害リスクなどにより、文化財を取り巻く環境は大きく変化し、今本市の文化財の保存・継承は多くの課題を抱えています。

そこで本市は、市内の多様な文化財を「栃木市の宝」とし、その保存と活用を総合的に進めていくため「栃木市文化財保存活用地域計画」を作成し、令和8年7月に文化庁長官の認定を受けました。これを記念して、「栃木市の宝」を改めて知ってもらうための企画展と公演会を開催します。

本計画の目指す将来像は『「栃木市の宝」を知り、分かちあい、守り、活かすことで、人とひと、過去と今をつなぎ、未来を創る』です。認定記念イベントを通して、市民それぞれが「栃木市の宝」を見つけ、皆で分かちあうことで、市全体で「栃木市の宝」を守り、未来へつないでいくきっかけとなれば幸いです。

企画展はパネル展示を中心に一部実物の資料も展示します



指定の「栃木市の宝」：泉町の山車 諺鼓鶏
解体修理中の尾羽根は**この機会を逃すと見る
ことができない貴重なもの**



未指定の「栃木市の宝」：伯仲第一号(長山)古墳出土品
大刀・勾玉 **初公開**
古墳時代、本市に有力者が存在したことを示す



未指定の「栃木市の宝」：大麻播種機
都賀地域で使用されていた麻の生産道具
本市の麻生産業の歴史を物語る

無形の民俗文化財公演会

日 時：令和8年11月14日(土) 午後1時30分から

会 場：栃木市立美術館・文学館ひろば(入場無料・どなたでも)

公演1 未指定の「栃木市の宝」 雅楽のしらべ

出 演 大神神社伶人会

公演2 指定の「栃木市の宝」 神楽の舞

出 演 依田流鶯宮太々神楽保存会



アクセス

- 電車 栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分
- バス 栃木駅北口からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で市民ギャラリーは「観光協会前」下車、ひろばは「藤沼酒店前」下車
- 自動車 東北自動車道栃木ICから約10分

※雨天の場合、次のとおり会場とプログラムを変更して開催します

日 時 令和8年11月14日(土)、13時30分から

会 場 栃木市立文学館サロン

公 演 未指定の「栃木市の宝」 雅楽のしらべ

栃木市教育委員会事務局 文化課
〒328-8686 栃木県栃木市万町9番25号
Tel0282-21-2497